

専攻長からのご挨拶

私は講義がしたい！でも「独学を支援する教材設計マニュアル」を書いた人だから我慢しなくてはなりません。独学はつらい、さびしい、長続きしない。そんなイメージを払拭し、「こういうeラーニングならば、もっとやりたい」と思える学習体験の場を実現することで、講義への欲望を我慢して過ごす毎日のもとを取りたいと思っています。通称「熊大ナイト」で折に触れ、学生諸氏と語り合う機会をととても楽しみに、それができない日々は掲示板でのやり取りを眺めては「うん、そうこなくっちゃ」と一人楽しんでいる今日この頃です。楽しく激しく学びましょう！

本専攻で注文の多い客になって、客の注文の意味をくみ取れる専門家を目指してください。



教授システム学専攻長（博士前期課程）・教授 鈴木 克明

私のリサーチインテレストは、「どうすれば人はその気になるのか?」、「どうすれば人は継続できるのか?」。主にメタボリックシンドロームの予防改善を題材に、「その気にさせる仕掛け」や「続ける仕組み」づくりに取り組んでいます。この2つはどの分野にも不可欠な要素です。

ぜひ一緒により良い方法を考えて、仕事に学びに活かしていきましょう!!



教授システム学専攻長（博士後期課程）・教授 都竹 茂樹

本専攻博士前期(修士)課程を修了することで身につくコンピテンシー(職務遂行能力)

1. 教育・研修の現状を分析し、教授システム学の基礎的知見に照らし合わせて課題を抽出できる。
2. さまざまな分野・領域におけるさまざまな形のeラーニング成功事例や失敗事例を紹介・解説できる。
3. コース開発計画書を作成し、ステークホルダごとの着眼点に即した説得力ある提案を行うことができる。
4. LMSなどの機能を活かして効果・効率・魅力を兼ね備えた学習コンテンツが設計できる。
5. Webブラウザ上で実行可能なプログラミング言語による動的な教材のプロトタイプが開発できる。
6. 開発チームのリーダーとして、コース開発プロジェクトを遂行できる。
7. 実施したプロジェクトや開発したコースを評価し、改善のための知見をまとめることができる。
8. 人事戦略やマーケットニーズに基づいて教育サービス・教育ビジネスの戦略を提案できる。
9. ネットワーク利用に関わる法律的・倫理的な問題を認識し、解決できる。
10. 教授システム学の最新動向を把握し、専門家としての業務に応用できる。
11. 実践から得られた成果を学会や業界団体等を通じて普及し、社会に貢献できる。
12. 教授システム学専攻の同窓生として、専門性を生かして専攻の発展・向上に寄与できる。

上記のコンピテンシー12項目(コア)の他に、選択科目の単位を取得することで身につくコンピテンシー7項目(オプション)があります。

※本専攻についてのさらに詳しい情報は専攻ウェブサイトに掲載されています。そちらも併せてご覧ください。

国立大学法人 熊本大学

大学院社会文化科学研究科 教授システム学専攻

〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2-40-1

http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp

E-mail: office@gsis.kumamoto-u.ac.jp



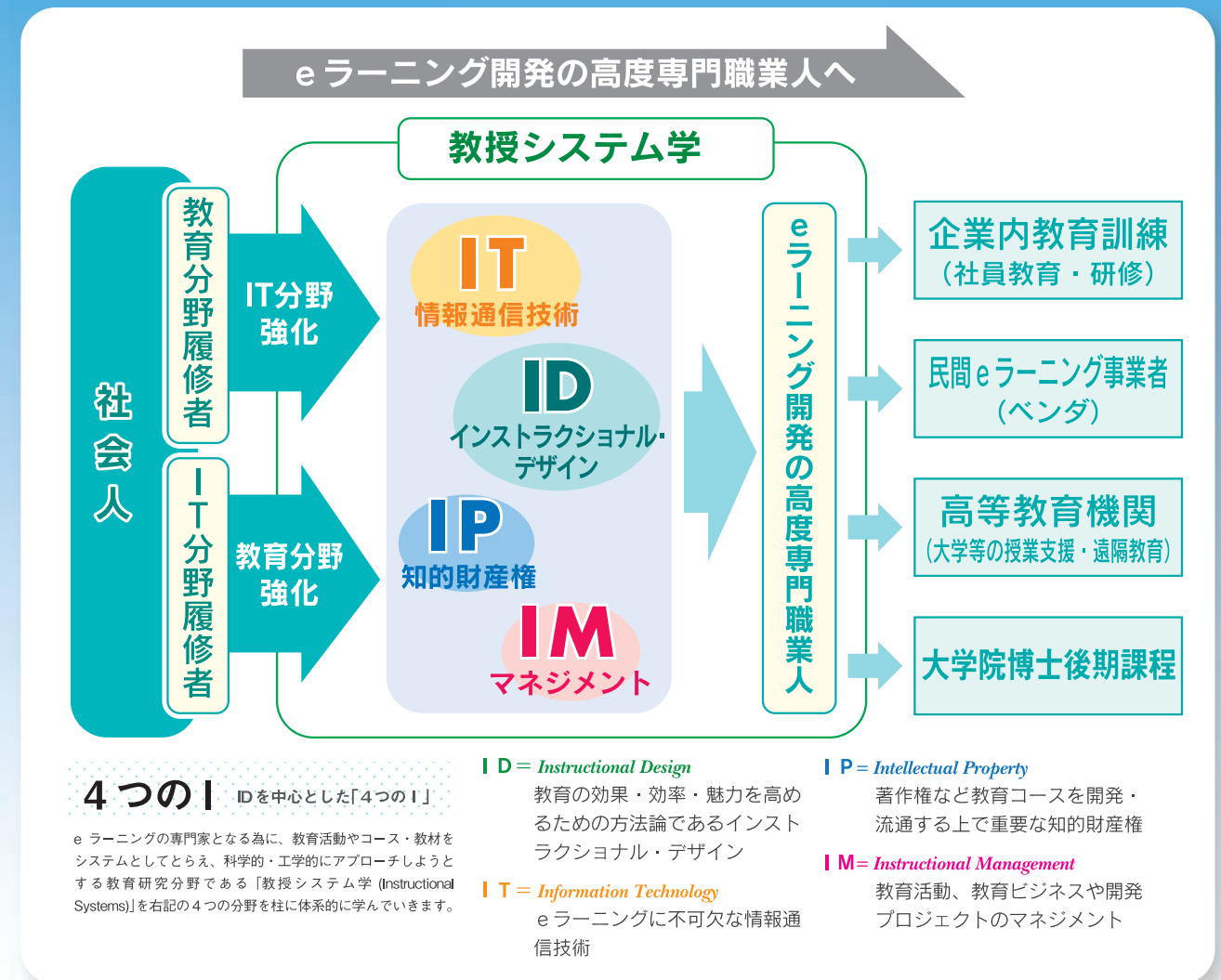
Kumamoto University

日本初のeラーニング専門家育成のためのeラーニングによる大学院

熊本大学大学院 教授システム学専攻

教え方、教えます!

授業、研修などの学びを効果的・効率的・魅力的にするための知識と方法を学ぶ専攻です。



出願期間 (最新の入試情報は専攻ウェブサイト・募集要項にてご確認ください)

博士前期(修士)・後期課程: 1月上旬
科目等履修生 : (4月入学) 2月下旬 / (10月入学) 8月下旬

大学卒以外の受験希望者の出願資格認定審査受付期間/

博士前期(修士)・後期課程: 11月下旬 科目等履修生: (4月入学) 1月下旬 / (10月入学) 7月下旬

<http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp>